

令和3年 1月7日発行 第10号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長



明けましておめでとうございます

～本年もよろしくお願ひ申し上げます～

校長



皆様方におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。

令和三年の干支は、十干が辛（かのと）、十二支が丑（うし）で、辛丑（かのとうし）です。「丑」は、植物の成長段階の「種から芽が出ようとする状態」を表しているのだそうです。殻を破り、新たな出発の兆しを感じさせます。今年こそ東京オリンピックが開催されて、日本経済が大きく伸長し、努力を重ねてきた選手たちに、発表の場が与えられることを願っています。

さて昨秋、人の幸せに関する講演会に出席してきました。講演者の慶應義塾大学大学院教授は、ロボット工学を出発点に、人工知能について研究し、人間の幸せを研究するに至ったそうです。新しい年の始まりにあたり、講演会で伺った、幸せに関するお話のいくつかを紹介させていただきます。

○「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」が、幸せになる4つの要素である。

- ・やってみよう因子：夢や目標をもっている人は幸せ
- ・ありがとう因子：感謝する人、親切で利他的な人は幸せ
- ・なんとかなる因子：楽観的でポジティブな人は幸せ
- ・ありのままに因子：人の目を気にしすぎない人は幸せ

○幸せな人は、長寿である。

○50歳を過ぎると、歳をとるほど幸福を感じるようになる。

○笑顔を作るだけで、幸せな気分が高まる。

○上を向いて大股で歩くと、幸せな気分が高まる。

人の幸せについてたくさんのお話を学ばせていただき、素晴らしい時間を過ごすことができました。社会の不安感が高まった状況が続いている中だからこそ、講演会の内容を日々の生活に活かしていこうと思いました。

結びに。今年の十干の「辛」は、「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」を表しているのだそうです。今年は、中学校で新しい学習指導要領が完全実施される年です。また、間もなく校内にWi-Fi環境が整備され、生徒全員に一台ずつタブレット端末が配布され、それを活用した学習がスタートします。本校は、新たな教育の要請に応え、学校・家庭・地域の連携をさらに強め、教職員一同教育活動の充実に邁進する所存です。どうぞ本年も本校の教育活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。